

とんぐり新聞

2013

6月号

175号

http://www.dongurinosato.com



毎月25日発行



邸品時1木館官日のご案内

6月19・20・21日の3日間

(水)(木)(金)

設備点検のため

とんぐりの湯・とんぐり横丁ともに1木館いたします。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いいたします。



平成25年度のとんぐり新聞は長老のお話です。稲武の13自治会の区長さんに紹介していただきました。ありがとうございます。

あまりにも世の中の変わりが激しいから、限界集落という言葉があるでしょう。

おしやま 大正10年7月21日生まれ・91才

押山の長老 太田卓さん

10年といいたいのがこの先5年が思いやられます



ふるさとを大昔に？ふるさとというものは出てきた人はそとでいって、2代3代になるとふるさとを思い出さなくなる

自分で「よー忘れんなあ」と驚くくらい小さい頃のことば覚えてます。太田さんの小さい頃住んでいた家は山の上、峰山にあり、三角点▲773mが台所のすぐ裏にあったそうです。小学校まで片道1里、往復約8キロを毎日歩いて通われました。標高500mの辺りで上は雪、下は雨と天気が変わるそうです。小さい頃は途中まで母が迎えに来てくれました。昔は両親とも非常に忙しい。4人も5人も子供の面倒なんて見ておれん。子供をかわいがる暇がなかった。ある時、迎えに来てくれた母親に甘えて、帰り道ずっと泣いて帰ったことがあったなあ。

昭和16年12月に始まった太平洋戦争...翌昭和17年1月10日に福井県鯖江へ入営。足かけ5年、北京、済南、青島など軍隊で過ごし、終戦の翌年昭和21年5月15日長崎県佐世保へ上陸。「戦争から帰ってきてからが大変でした。食べるということがね。ヨモギを雑炊で食べたり、木の葉、りょうぶやひきがえるを食べる人もいたよ」

昭和34年9月26日伊勢湾台風...夜7時頃、第1波の風が来ました。草屋根の頑丈な家でしたが、ふすま、雨戸、障子...すべて風で飛ばされました。こちらからあちまでみな吹き飛ばした。山の上で、さえぎるものが何もないからね。次の日、周りの山を見た息子(小学校1年生)が「ゆうべ雪が降った」と言いました...山のてっぺんはなぎで崩れて、まっ白でした。復興状況を見に来てくれた役場の人に稲武で1番の被害といわれました。」

45才くらいのとき引っ越しをしました。山の上から今住んでいる場所へ移転。「その頃がちょうど日本の経済の転換期でした。それまで稲武の多くの家はお蚕(養蚕)で収入を得ていました。が、ある間に養蚕が衰退。夏はお蚕を飼って、冬は炭を焼くというのが稲武の産業のパターンでしたが、矢作ダムができる頃、働き手を集めての土木事業や工場での仕事が増え、さかんになってきました。」

岐阜県 甲山という土地が、日々の買い物や文化は小田子を中心でした。県境をまたいでの陸上大会や弁論大会(テーマ満州国の長期建設と我らの覚悟)がさかんだったなあ。区長を務めたとき甲山から峰山への道を作りました。それまでは歩くだけの細い道でした。土地交渉や測量をして5年かけて完成しました。その時に植えた道沿いの木々が今も残っているところもあります。

6・7月のイベント・見どころ

ほたる鑑賞会

6/29・30 18:00~21:00頃
(土)(日)
大井平公園・風のつり橋周辺にて

バザーの出店、オカリナの演奏もあります！

ほたるも出てくる時期、新緑のみどりもこくなってきました！いなぶ観光協会 名倉川の散策がおすすめです。TEL (0565) 83-3200

山里体験 とんぐり工房 TEL (0565) 83-3838

- 石釜でピザ作り 6/2(日)
- 父の日うちわ作り 6/8(土)
- キッズクッキング: パンを作ろう 6/9(日)
- まりの吊るし飾り 6/16(日)
- 草木染め 6/23(日)

稲武小学校・糸会の展示 5/31~7/3 とんぐりの湯にて (金)(水)

ラベンダーフェア 道の駅イベント広場にて ラベンダー直売など 7/6・7・13・14・15・20・21 (土)(日)(土)(日)(月)(土)(日)